

素敵な面々

野 崎 岳 央

昨年は青年会議所を卒業し、新たな人生の出発と位置付けたはずの一年だったのですが、待っていたのは本厄の禍ばかりだったように感じます。しかし、起こっている事象の原因を究明すれば、そこには自分に帰結する事実があり、論理的に考え討論する事を好むが、理論的な行動の出来ない自身を突き付けられる。来年こそは、感情をコントロールし得る思考法を身に付け前進したいと思うのです。つまらない事を書いてしまいましたが、ここからは公衆衛生部の素敵なメンバーを紹介したいと思います。

まずは長老、いや重鎮平瀬拓夫先生ですが、言わずもがなの博学、理論家、常識人雑学王と名だたる称号を多数お持ちの当部のご意見番です。先生が唯そこにいらっしやるだけで部会は引き締まり、要をおさえた見解に随分と助けられました。続いては、誰もが嫌がる金庫番をその端正な顔そのままにキチッとこなしてくれたのが佐々木淳先生です。随所で光る彼の細かい気遣いにいつも感心させられました。彼の後輩で元気の良さ若手ナンバー1は、鋭い意見をその奔放な言動に任せ部内の活性化に大きなエネルギーを注ぎ込んだ功績大の人物、その名は品川浩介先生です。変なプライドを持たない所が彼の魅力の一つと言えるでしょう。続いては、生真面目で心優しい庶民派代表、入会は浅いがその人物象に信用は絶大、第三の山田こと山田貴文先生です、会議では、部長の考えを全面バックアップ、自分の出来る事を真摯に貫く義理・人情に厚い男で、部の潤滑油的部分を自ら引き受けてくれた平和主義者です。

ここからは地方組の登場ですが、一番の先輩格は石井真生先生です。部会には、たとえ遅くなくても必ず登場してくれる責任感の強い男は、会議が終わるとすぐに帰ってしまいます。そこには、家族に対する責任と深い愛情が彼の後ろ姿から伝わってくる、良き父親像がいつもありました。

今年一番うれしかった出来事大賞の栄誉を手にしたのは小浪知之先生でした。初めてのお子様誕

生に気力充実、自分のやるべき仕事を正確にこなす実直さ、冷静な判断力は当部にはやはり欠かす事の出来ない人物と言えるでしょう。

そして岩齒屈指のイケメン先生、その夕張メロンのような甘いマスクにマフラーを巻けばまさに小さなヨン様、樋浦善威先生です。8020ハッピーフェスティバルでは、司会の大役を務めて頂き事業を成功に導いた立役者でした。

発想主体、思い込み一番の山田直樹部長は、行動力はあるがなかなか人に理解してもらえない論理無用の孤高の天才ですが、彼を陰で支え続けてくれたのは副部長で話の分かる清水学先生でした。彼が女房役をしっかりと全うしてくれたから、部会が成立したと言っても過言ではないでしょう。

このように、個性溢れるメンバーと共に活動出来た事に感謝申し上げ、飲み会でしか力を発揮出来なかった事をお詫びし、来年こそは不毛な外出は控え慎まじやかに後厄の年を乗り切ろうと考えている次第です。

